

課 長	課長補佐兼係長	主 幹	係員

令和6年度 大河原町男女共同参画推進審議会 第1回会議 会議録

1. 開催日時 令和6年6月12日（水） 午後1時30分～午後3時10分

2. 開催場所 大河原町役場 第1会議室

3. 出席者

No.	部門	所属等	職	氏名	出欠
1	学識経験者	K a z iプロジェクト	代表	木村 秀則	○
2	商工団体	大河原町商工会女性部	女性部長	八重樫 裕子	○
3	町内企業	株式会社ヒルズ	総務部長兼 社 長 室 長	小野寺 拓弥	○
4	町内企業	株式会社M i r i z	専務取締役	渡辺 和子	○
5	教育機関	大河原町教育委員会生涯学習課	社会教育指導員	大内 恵美	○
6	行政機関	宮城県生活環境部共同参画社会推進課	男女共同参画推進専門監	大沼 史柄	○
7	人権擁護団体	人権擁護委員	委員	森 恵子	○
8	防災・子ども育成	防災介助士・大河原中学校学校運営協議会委員・おもちゃ図書館パオの会会長	介助士 委員 会長	三浦 奈美恵	○
9	公募住民				
10	公募住民				

4. 事務局 大河原町政策企画課 吉野課長、小熊課長補佐、長谷川主幹

5. 町長あいさつ

皆さんこんにちは。今日ちょっと外気温を見てきました。30℃を超えました。この後1度2度上がる可能性があるようです。初めて私の部屋も冷房を入れてしまいました。暑い中大変ご苦勞様でございます。本日は令和6年度第1回大河原町男女共同参画推進審議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。委嘱状、机の上ということになりましたが、交付させていただきました。一般公募の方がいなかったということを、どういうふうに受け止めたらいいいのかというふうに考えておりましたが、皆さんの任期は2年ということですので、何卒よろしくお願いを申し上げます。

さて、改めてお話しすることでもありませんけれども、男女平等社会の実現に向けて、国際社会におきましても、あるいは我が国におきましても、様々な取り組みがなされてきたところでございます。ますます多様化する社会の中で、なお一層の努力が必要なのではないだろうかというふうにも考えているところでございます。本町におきましては、男女共同参画推進審議会は、設置が若干遅れたところでありましてけれども、あらゆる社会分野におきましてその形成に関する施策の推進を図っていくということにつきましては、重要なことというふうに受けとめているところでございます。

少し話変わって余談になりますけれども、今、我が国を取り巻く最大の課題と言ってもいいぐらいの大きな課題が人口減少、そして同時に進む少子高齢化の問題だろうというふうに受け止めております。このところ衝撃的なニュースが続いておりまして、増田寛也さんのですね、新しいレポートとして発表されました消滅自治体のお話がございました。そしてまた、出生率が全国1.20。なんと宮城県は1.07。3番目に低いというニュースもございました。東京都にいたっては1%を切って0.99ということですので、極めて深刻な状況だということを痛感しているところです。この大変大きな、そしてまた急速な社会環境の変化に対応していくことを考える上でも、男女がお互いに人権を尊重しつつ、責任も分かち合いながら、その個性あるいは能力を十分に発揮していくということが実は男女共同参画の実現ということにおいても、極めて重要なことと改めて感じているところでございます。

本審議会を通しまして、本町の将来に向けたあるべき方向性、こういったものを議論していただきたいと思うわけですが、基本計画策定に向けまして、ぜひ忌憚のないご意見をお出しただいて、この課題にしっかりと対応してまいりたいというふうに思うところでございます。よろしくお願いいたします。

6. 委員並びに事務局紹介

各自自己紹介を行った。

7. 会長及び副会長の選任

会長に木村秀則氏、副会長に八重樫裕子氏が選任された。

8. 会議

(1) 大河原町男女共同参画基本計画策定について

- ①男女共同参画基本計画書の構成＜資料1＞
- ②男女共同参画基本計画の策定スケジュール＜資料2＞
- ③男女共同参画の推進に関する施策＜資料3＞
- ④男女共同参画基本計画に係る施策シート＜資料4＞
- ⑤男女共同参画に係る調査＜資料5＞

①への質疑応答（要約しています）

発言者	内 容
長谷川主幹	ただいまの計画の説明ですが、各市町の計画を参考に型通りのイメージで構成しております。いま計画に係る施策シートを職員が作成しております。大河原町の特徴で力を入れたいところ、また難しい状況もあり、型通りといかず、多少変わる可能性もあります。基本的には、他市町が宮城県の計画項目をなぞっているように進めていくつもりではおります。
木村会長	私も各自治体の計画を見たり、実施経過を見てきましたが、職場の男女共同参画は1企業単独では難しい。多忙により計画が進捗しないことも多々あります。何社か集まってチームによる活動推進が必要かと感じています。 参考として、キリンホールディングさんの社内研修で「なりきりママ・パパ研修」を紹介します。ママ・パパになりきり1ヶ月仕事をするのですが、残業ができないとか、月1回ほどのタイミングでお子さんのお迎えに行くとか、緊急で電話が来ます。社外にも「木村、父になります。」と宣言し理解をしてもらおうとか。子を持つ、親となる、疑似体験で男女共同参画を理解するというのが企業ではすでにあります。
大内委員	この資料を頂戴したときに利府町を参考にした記載がありました。利府町を選定した理由、参考すべきところは何なのかを教えてください。
長谷川主幹	利府町は第4次計画で4回見直しをしており、アンケートも大規模に取っていて、男女共同参画に対する住民意向が勉強になるところがあります。もう1つは基本項目の1つに防災が入っていた点で、現状を捉えていた点から参加にしております。
大内委員	大河原町でもアンケート2種類、小学校保護者対象、事業所対象を実施されている状況と聞いています。回答に多分共感できる場所が多々あると思っています。回答がいつ出るのか楽しみに待ってい

	たいと思っています。
長谷川主幹	アンケート回収を終え、今集約しております。集計・グラフ化、意見の記載をしていきますが、職員のプロジェクトチームで施策に反映させ、その後審議会でご意見をいただきます。回収率が小学校保護者に 403 通配布し 226 通回収、約 56%の回収率。事業所が残念だったのですが、551 通配布し、83 通回収、約 15%の回収率でした。

②～⑤への質疑応答（要約しています）

発言者	内 容
木村会長	資料 4 番の施策シートを作って審議するとあります。このシートは基本的に今後 5 年間で実施を示す計画の概要ということですね。
長谷川主幹	施策シートは現状、課題、今後の施策の方向性として令和 7 年度から 11 年度まで目指していくものになります。数値で表せるのであれば目標指標として記載いただくものです。
木村会長	1 年ごとに落とし込むとかは特にしないでこれを目指しながら、数字で管理していくみたいな感じですかね。
長谷川主幹	計画書にある施策の進捗管理を次年度から行っていきます。目標数値も現状により変えていくこともあります。審議会にも報告させていただき、修正・改正は現状に合わせ必要と思います。
木村会長	資料 3 裏面の基本目標 4 の大きな 3 つ目ですね農林業自営業に、というところの②番なんですけども、家族経営協定とありますが、私知らなくて初めて聞いたんですけど。
事務局	町内では今のところ 3 つぐらいしかなく、宮城県全体では 700 ぐらいあるようです。家族経営で、家族みんなで労働環境を決める進め方のようなようです。
渡辺委員	うちの従業員にも保護者のアンケートが来ました。アンケート結果楽しみです。また、県内で計画が作られていない 7 つに大河原町が入っていること、県内足並みそろえる意味からしても必要と感じました。
大沼委員	施策シート数が 30、素晴らしいと思いました。大河原町の本気度がわかります。他の市町村では目標値を立てるだけで精いっぱいというところもあり、施策を詳しく書いてあり、進捗管理もしていくとあります。
長谷川主幹	ありがとうございます。現在、職員が施策シートをまとめているのですが、目標指標に頭を痛めているようです。ただ、全施策に目標指標を立てるとしても、他の市町村では計画書の大きな項目に対し 7 つ

	か8つを選定するのが多いです。どのくらい掲載できるかは、これからになります。男女共同参画の方向性は1つも設定しているわけではないので、材料がそろった際に皆様からご意見をいただいています。
小熊補佐	町として初めて作る計画ですので担当の方も、どのように作ればいいか、真っ白から書き始める状態です。
長谷川主幹	各セクションで持つ男女共同参画のイメージが異なっていますので、職員の見る方向、意思統一が必要と感じております。計画を示せる経過ディスカッションしながら同じ方向を意識し、一緒に作り上げた気持ちにならないと、その時だけ計画ということで終わるのが一番怖いので。

9. 意見交換（要約しています）

発言者	内 容
大沼委員	この3月まで小学校の校長で4月から県庁出向し、畑違いで四苦八苦しています。学校現場では男女の差別をした覚えがないと感じていましたが、体育係は男子が多い、運動会の応援団長が立候補ないときには男子頑張れと言っていました。今思えば、男女差別だなどという無意識、アンコンシャスバイアスがあったんですね。お年寄りの方々が思う男尊女卑的な考えはわかっていたのですが、そうじゃなくて自分の中にもこんなにあると今感じています。
八重樫委員	ランドセルも男の子は黒、女の子は赤、今は女の子でも茶色とか。シックで素敵と話しますが、思い込みがある中で、好みが違ってきていると感じています。 学校の校長先生も男の校長先生が続いていたけれど、今はだいたい校長先生も、教頭先生も女性が増えてきていて、私たちが育った時代と全然違ってきます。男女の垣根が取られてきていると思いながらいます。
大内委員	家庭の話になりますが、孫の話になると主人に対し「育児しなかったからね。」と息子に言われます。主人からすると、そういう時代ではなかったという返事。どこからが境かわからないけれど、昔と今の子育ては本当に違うと実感しています。 別の息子が育児休暇を取得。主人は「へえ、育児休暇取るんだ。」という返事。現場は大変だろうと、内部の方の心配は確かにしております。本当に喜ばしい男女平等で育児休暇取得もどこでも、どんな企業でも、どんな職業でも取れるように進んでいますが、職場の内情は本当に厳しいところは否めない。現場も理解し、男性の育児

	<p>休暇取得が晴れやかに取れる世の中はあと何年かかるのかと思っています。</p>
木村会長	<p>同じ思いがあります。息子のオムツ交換しているのを見て私の父親が、1回もやったことないと羨ましそうにしていました。</p> <p>育児休暇も増え、期間も増えているように見っていますが、実際その間現場もどうなのかなってちょっと気にはなったりはしますが、私も取ったことがないので。</p>
大内委員	<p>ヒルズさんあたりに育児休暇取られる男性職員の方っていらっしゃるんですか。</p>
小野寺委員	<p>男性で育児休暇を取った人は、いないですね。専業主婦の方がいたり、育休明けの従業員が戻ってきましたが実家で子どもを見てもらえるので旦那さんに育休を求めるというのはいないようです。</p> <p>育休の代替人員が課題ですね。育休後にすぐに戻れるかという、保育園に預けられるかによります。行政に絡むところですが、生まれたばかりの小さい子、未満児も預けたいが、預け先は少し遠いところになるとか。希望と合わない現状に影響されます。希望の施設があくまでの期間対応、短期な育休に対応した預け先も必要かと。</p> <p>私たちも、おじいちゃん、おばあちゃんに育てられた世代なので、親が子育てするイメージなく育ち、自分がいざ子育てする際にイメージできない。結婚しないのも子育てをする側のイメージがつきにくいのかかもしれません。でも結婚して子育てすると、もっと早ければと初めて気づく。木村会長のキリンホールディングのママ・パパ疑似体験は子育てのイメージを身に着けるおもしろいプロジェクトです。職場だけでなく、学校現場でもマタニティ体験に加え、意識が変わると思います。結婚して、仕事もしたい、でも子どもができたならこんなことがある、男女共同参画といわなくても当たり前になると思います。</p>
木村会長	<p>子育てバージョンのほか、病気のパターン、介護のパターンもあり、キリンホールディングの管理職、役員も受けているようで、上層部も理解したうえで研修ができていく体制みたいです。</p> <p>子育ては比較的読めますが、病気や介護はいつ来るかわからない、いつ終わるかわからないといえます。</p> <p>疑似体験により、様々な場面をみんなで共有できますし、その期間の業務改善にもつながっている結果があります。個人的に、このような活動とコラボレーションができればいいなと思っています。</p>
渡辺委員	<p>弊社は総勢25名ほどで、男女比は半々、育児休業を取得した男性が2人おりました。1人目が産前産後の10日間ぐらい、2人目が1ヶ</p>

	月。大企業でしか対応できないかなと思っていましたが、弊社の規模でありますと業務の支障が出てくることもあり、そこをカバーする効率化を合わせて考える機会になっています。素晴らしい制度という意見もあり、年代によっては出世を諦める見方もありますが、権利ですし、取得してもらって、現場に戻ってすぐ働ける準備をしてくださいというアドバイスをさせていただきました。
木村会長	企業側としては大変でしたね。
渡辺委員	いや、多分別に1ヶ月ぐらいなので。本人が1ヶ月でもやっぱり家事に専念するという事なので、少し感覚みたいなものが戻るのに少し時間があつたみたいですけど。
木村会長	半年とか1年取りたいっていう声もありますよね。
渡辺委員	社会保障制度もリレー方式でやっていくと、給付が下がらなかつたりするので、本当はリレー方式で取りきつた方が本人にはいいんでしょうけれど。本人のメンタル次第ではないでしょうか。
木村会長	確かに現場はなかなか難しいところ。代替の方とかのバランスとかも難しいですよ。
渡辺委員	戻ってくるのがわかるから、採用とかできないんですよ。
森委員	娘の旦那が役所勤めですが、取りにくい雰囲気があるようです。自分が率先して取らないと周りも続かないだろうと、第1子のときは1ヶ月取りましたが、第2子は実家に戻ることを考え1～2週間でした。 今、主人と2人暮らしですが、昔は男が外に出て、女は家を守るという感じで、子どものお風呂も3人いっぺんに入れて、手伝いとかはなかったですね。ゴミ捨てが主人の仕事でした。
木村会長	我々の活動をしていますと60代、70代バージョン向けのリクエストもあります。仕事を辞めたので、家での仕事をどのように割り振るのかみたいなことをよく言われています。
森委員	でも昔からしたらするようになりましたよね。昔の主人なんか何もなくて。2人になったら手伝ってくれるようになって。
大沼委員	ゴミ捨てするだけでもいいと思う。
木村会長	三浦さん、防災の方で何か感じるところとかありますか。
三浦委員	18年前に障害のある娘連れて引っ越してきて、誰も知らないで、お父さんは仕事に専念していて、みんな羨ましいと思いながら、幼稚園に自転車で送ったなあと思い出しました。育児休業で、夫2人で子育てできるのであればいいなと思いながら。 地域で子どもがお世話になったということもあり、交差点で旗振り

	<p>して子どもたちを通しています。毎日のように出て、この10年で最初、当番はお母さんたちばかりだったのですが、この何年間、お父さんが当番に出てくることが多くなりました。子どもたちの通学の様子、危険箇所など興味を持っていただくことが有難いと思っています。</p> <p>防災に関してですが、うちの地区の自主防災組織を区長さんに聞いて、区長さんが会長、その下に防災委員がおり、男性1人、女性が2人、女性は区の民生委員と婦人防火クラブの会長で、防災の会議の中で女性の立場で発言しているとのこと。</p> <p>他の地区の他の皆さんの話もお聞きしたいなと思っておりまして、まず会長はどちらから来ていただいて…?</p>
木村会長	<p>私の仙台市泉区内の地区で役員をしたことですが、初めて町内会の会長を女性の方がなり、これまで同じことをしてきましたが1回整理しましょうと、結構見直しをしました。男性、女性ということもありますが、新しい方とか、若い方とか、いろいろな方が参画することで、工夫やアイデアが生まれたという経験があります。こちらの地区では会長とか男性が多いのですよね。</p>
小熊補佐	<p>女性の区長は43行政区のうち2人ですね。</p>
八重樫委員	<p>商工会女性部長になってこうやってみたいという気持ちがあったように、区長が女性になって女性目線で地区をこうしてみたいという改善をするのはあると思います。女性の区長さんが2人いらっしゃるのすごいことです。もっと増えてほしい。隣の町は女性議員が多いのですが、うちの町は女性議員が少ないので増えてほしい。</p>
吉野課長	<p>柴田町は多いです。</p>
小熊補佐	<p>蔵王町も今回から3人。立候補が今までいなかった。70年の中で初めて女性が立候補して、3名議席を確保した。</p>
大内委員	<p>私は角田市に住んでいますが、生涯学習課に勤務して町の動きが見えて、角田市と大河原町を見比べたりしています。角田市の生涯学習パンフレットは見やすいのですが、手を加えることがあってもよいと感じます。</p>

10. 閉会